

「全校研究会の学び」を自分の担当教科で実践

「グループ別研修・研究会」

B:校内研修Ⅱ型(講師設定型の研修)

このような教員の姿が生まれました!

- 全校研究会を通して、「自分の教科指導に取り入れたい。」と考えたことを実践する場を設定したことで、お互いに学び合う全校研究会やグループ別研究会を実現できました。
- 教科で分けたグループごとに授業研究を行うことで、教科の特性に合わせた ICT の効果的な活用の仕方を検討・共有することができました。

第1学年 理科「いろいろな生物とその共通点」の授業後の研究会

研究授業で効果的だと感じた活用について話し合い、担当教科の特性に合わせた活用の仕方について検討する。

- ・ あらかじめ、担当教科ごとに分かれたグループを決め、研究の視点を「本時の授業でよかったと感じた ICT の活用の仕方」と「自分の担当教科ならどのような活用の仕方をするのか」に設定した。
- ・ 全校研究会の後にグループ別研究会(実践の場)があると見通しを立てることで、目的を明確にした活発な全校研究会になった。



全校研究会のポイント

- 「自分の担当教科に生かし実践する」ことを視点に全校研究会を行うことで、研究会を主体的なものにする。

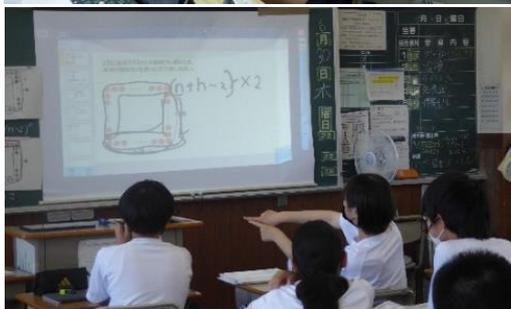
理科の全校研究会を基に、グループごとの研究会を行い、実践する。



【国語】「言葉を集めよう」

～「Jamboard」を活用したグルーピング～

- ・ 理科の授業で行っていた「Jamboard」を活用したグルーピングを国語の授業にも取り入れた。料理の写真を基に「食レポ」を行う活動を通して、その料理の特徴を表す言葉を ICT 端末上で並び替えながら、「どのように言葉を繋げていくとよいか」を考える手立てとした。



【数学】「文字と式」

～教室前面に生徒の ICT 端末の画面を映す交流の場の設定～

- ・ 理科の授業で行っていた「前面の大型提示装置に生徒の ICT 端末の画面を映し出し、比較したり、操作したりしながら交流する活用法」を取り入れた。思考の過程が可視化され、筋道立てた説明ができるようになった。さらに、教師は生徒の取り組み状況をリアルタイムに把握することもできた。



【音楽】「リズムアンサンブル」

～「バーチャルピアノ」を使って、リズムをつくる授業～

- ・ ICT 端末の環境を生かし、「バーチャルピアノ」を使って、リズムアンサンブルを行った。ICT 端末を使うことで、全員がピアノに触れる学習を仕組むことができた。

グループ研究会のポイント

- グループ別研究会を受けて授業を公開する際には、ICT の活用に焦点を絞り、検討・共有しやすくする。